

プレスリリース 内容説明

～日本全国のジュニアアスリートを応援～
最先端センサを用いてアスリートに
理想的なランニングフォーム指導を行う
製品開発に着手

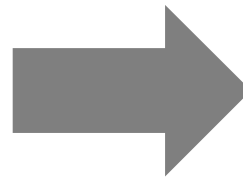
本日の内容

- 1 発表内容 趣旨
- 2 製品紹介（開発中含む）
- 3 質疑応答

発表内容 趣旨

ATR Promotions社の慣性センサを身体に装着し、専用ソフトでランニングフォームの特徴や癖を可視化できる製品を開発。

その情報に基づきランニングフォームを改善することにより、身体能力・競技成績の向上および怪我の予防を目指す。

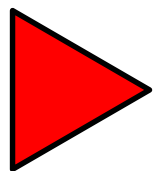


開発の経緯

▶ 都市部に比べ、人口の少ない地域は先端技術や設備を元にした運動指導を受ける機会が少なく、競技指導者も少ない

▶ ジュニア期（小学生～高校生）に適切な指導をられず、能力を発揮出来ずに埋もれてしまっているアスリートの存在

▶ 多くの競技で求められる基本的な運動である「スプリント」をターゲットにすることで運動能力の底上げを行える



日本全国どこにおいても先端技術を用いた科学的な運動指導などが受けられる環境作りを行う

潜在的な課題

✔ 潜在的な「成長ロス」の期間を減らす、無くす

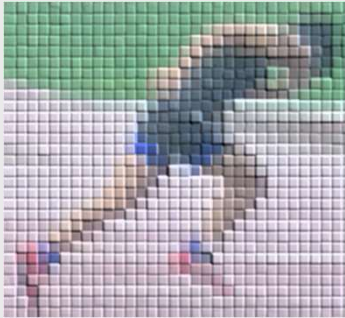
プロ野球選手、プロサッカー選手でさえ、オフシーズンに個別指導で走り方指導を受けている選手が沢山います。つまり、プロになるまで「理想的な走り方」を指導されてこなかったとも言えます。もし身体能力に優れた選手が早い段階から理想的な走り方を身につけていたら、より高い成績を残せていた可能性があります。その可能性を、今回の取り組みでは追求します。

✔ 怪我をするリスクの低減

肉離れや捻挫、膝蓋靭帯炎や膝前十字靭帯の損傷など、部活動の中で発生するスポーツ外傷は少なくありません。危険性のある動きを検出することで怪我をするリスクを低減し、パフォーマンスの向上と共に選手生命の延伸に役立てます。

商品活用イメージ(1)

取り付けたセンサで計測



動きのデータ化

①現場での指導に即時利用



フォームや各種パラメータの即時可視化を行い即時利用

③遠隔で専門家の指導を受ける



計測データを共有し、遠隔の指導者などから指導を受ける

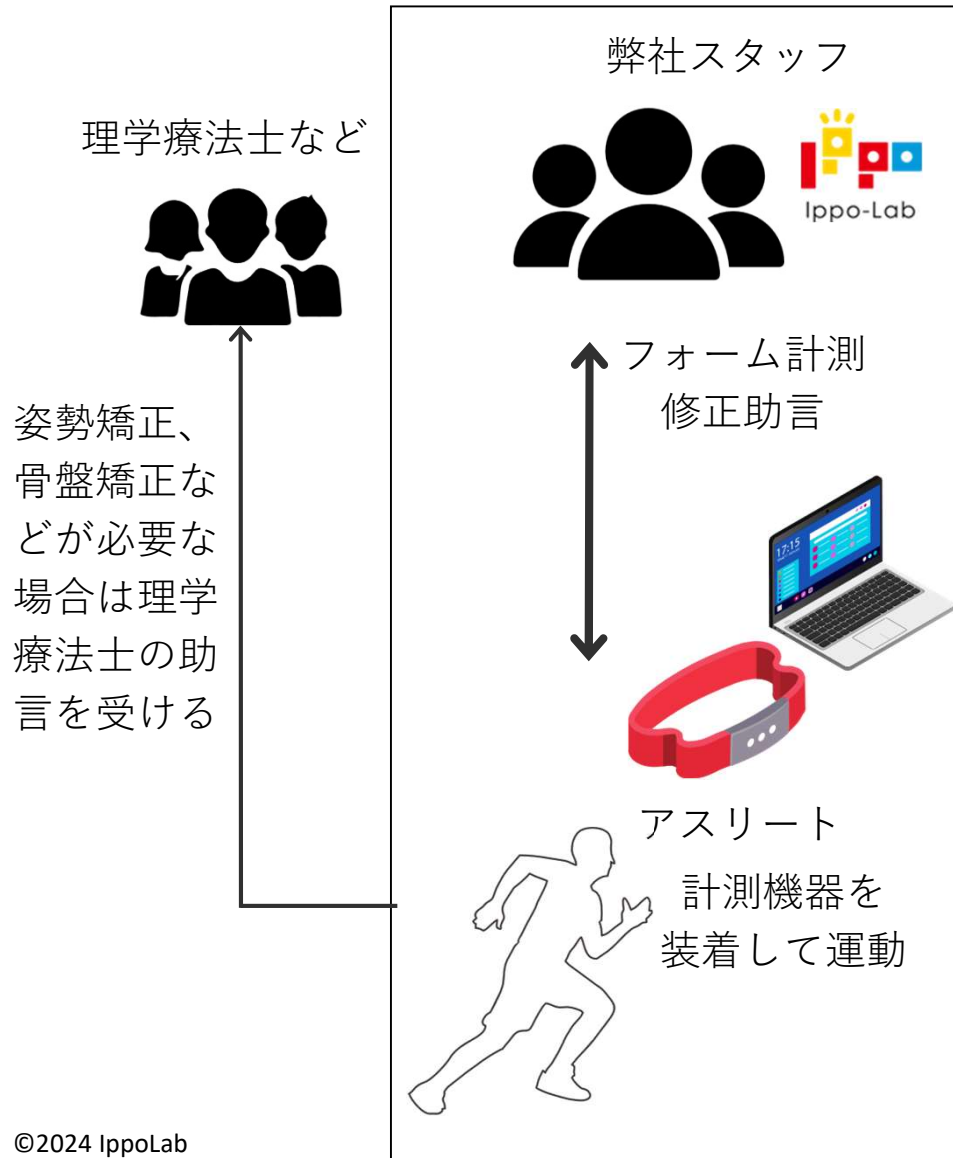
②詳細レポートを活用



より専門的な詳細レポート出力し、問題点や指導方針などをじっくり検討

商品活用イメージ(2)

① イッポラボが直接顧客を指導



② 販売先・レンタル先所属の指導者が指導



計測機器 装着デモ

現在使用しているセンサーや
装着方法をご覧ください

「詳細レポート」の抜粋（開発中）

ジュニアアスリートの解析例

ATR-Promotions

 Ippo-Lab

配付資料から削除

本システムで実現できること

① より良い走り方になり、足が速くなります

例えば「左足だけ外側を向いて走っている」「50mを過ぎると減速している」などの改善点が分かります。課題を改善するための練習を取り入れることで、パフォーマンスが向上します。

② 不安が減り、自信が持てるようになります

競技成績が伸びずに悩むアスリートに対して、パフォーマンスに関する改善点を科学的に明示することで、「これを改善すれば良くなるんだ」という前向きな指針を示すことができます。

③ 怪我のリスクが減ります

「右足を庇って走っている」などのネガティブな特徴がわかることで運動の仕方が代わり、怪我のリスクを事前に減らすことができます。

製品開発スケジュール（予定）

2024年9月 分析方法や評価項目 決定

小学生～高校生の陸上選手がモニターとなり、センサをつけた計測と効果的なコーチング用パラメータの検討中

2024年12月 製品サンプル 完成

①身につける計測機器、②分析用ソフトのサンプル完成
UI/UXの継続検証

2025年夏頃 製品販売・レンタル 開始

全国の部活動強豪校やスポーツチームを中心に開始
追って実業団チームなど成人アスリートにも展開

Thank you!